

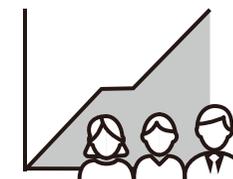
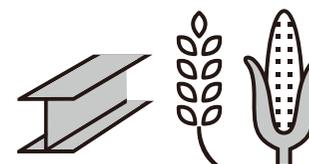
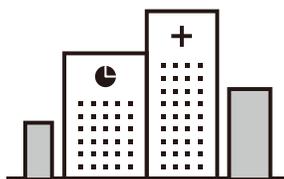


|    |             |         |          |                    |            |              |
|----|-------------|---------|----------|--------------------|------------|--------------|
| 目次 | 会社情報        | 社長メッセージ | 三井物産のCSR | <b>CSRの5つの重要課題</b> | 社会からの評価    | 独立した第三者保証報告書 |
|    | 重要課題ごとの活動報告 | 地球環境の保全 | 人権の尊重    | 地域産業・生活基盤の充実       | 資源・素材の安定供給 | ガバナンスと人材育成   |

## CSRの5つの重要課題 (マテリアリティ)

三井物産は、企業の社会的責任(CSR)を重視した経営を行っており、さまざまなステークホルダーの期待と信頼に応え、当社の企業使命に掲げている「夢溢れる未来」作りに貢献するべく、当社が取り組むCSRの5つの重要課題を特定しました。

これらのCSRの5つの重要課題について、全事業活動と関わりのある社会課題を認識するとともに、社会課題の影響による当社にとっての主なリスクと機会を検証し、各課題への当社アプローチを開示しています。



地球環境の保全

人権の尊重

地域産業・生活基盤の充実

資源・素材の安定供給

ガバナンスと人材育成

🔍 P.14 三井物産のアプローチ

🔍 P.14 三井物産のアプローチ

🔍 P.15 三井物産のアプローチ

🔍 P.15 三井物産のアプローチ

🔍 P.16 三井物産のアプローチ

上記の整理と合わせ、GRIガイドライン(G4)上のマネジメントアプローチとして、CSRの5つの重要課題ごとの具体的な取り組みテーマを設定した上で、関連方針や設定目標などを明確化し、G4が示すマテリアルな側面、バウンダリーを特定して課題への取り組みを進めています。

本レポートP.14～P.16の「CSRの5つの重要課題」ごとの「取り組みテーマ」は、「重要課題ごとの活動報告 (P.17～P.73)」にて、各テーマ別に詳細を報告しています。



|    |             |         |          |                    |            |              |
|----|-------------|---------|----------|--------------------|------------|--------------|
| 目次 | 会社情報        | 社長メッセージ | 三井物産のCSR | <b>CSRの5つの重要課題</b> | 社会からの評価    | 独立した第三者保証報告書 |
|    | 重要課題ごとの活動報告 | 地球環境の保全 | 人権の尊重    | 地域産業・生活基盤の充実       | 資源・素材の安定供給 | ガバナンスと人材育成   |

三井物産のアプローチ



地球環境の保全

社会課題の認識

- 地球温暖化・気候変動
- 生物多様性損失
- エネルギー、水不足
- 環境汚染

世界中の国・地域で事業を展開する企業として、地球環境への影響に対する配慮が重要であると認識しています。

主なリスクと機会

- **リスク**  
気候変動による異常気象がもたらす事業活動への悪影響、事業活動による生態系破壊・劣化等に伴う環境コスト増大など
- **機会**  
環境意識の高まり・規制強化による、環境関連ビジネスの市場拡大、エネルギーの多様化による事業領域の拡大など

三井物産のアプローチ

環境関連法規・各種協定の遵守、環境汚染の発生防止、温室効果ガス発生抑制、生物多様性の維持など地球環境への影響を認識し、その緩和に向けて取り組むとともに、当社総合力の活用ならびにパートナーの協力をもって、各種環境課題の合理的で永続的な産業的解決を推進していきます。また、「三井物産環境基金」を活用し各種環境課題の解決、資源の効率的活用、生態系と人間の共生等に関するNPOや大学などの研究、活動案件への助成を継続していきます。



| 取り組みテーマ          | 関連方針・規定と設定目標                      | GRI特定標準開示項目  | バウンダリー |     |
|------------------|-----------------------------------|--------------|--------|-----|
|                  |                                   | 特定したマテリアルな側面 | 組織内    | 組織外 |
| 環境マネジメント体制強化     | • 環境方針                            | 環境全般         | ○      |     |
|                  |                                   | コンプライアンス     | ○      |     |
| 環境価値創造に向けた事業の推進  |                                   | 製品およびサービス    | ○      | ○   |
| 地球温暖化防止などの環境負荷軽減 | 【設定目標】<br>• エネルギー使用量<br>年平均1%以上低減 | エネルギー        | ○      | ○   |
|                  |                                   | 大気への排出       | ○      | ○   |
|                  |                                   | 輸送・移動        | ○      | ○   |
|                  |                                   | 水            | ○      | ○   |
| 生物多様性の保全         | • 環境方針<br>• 森林管理方針                | 生物多様性        | ○      | ○   |
| 社会貢献を通じた環境課題の解決  | • 社会貢献活動方針                        |              |        |     |



人権の尊重

社会課題の認識

- サプライチェーンにおける人権への責任拡大（保安慣行・労働慣行など）
- 資源開発などにおける先住民への配慮  
世界中の国・地域で多様なバリューチェーンを構築している企業として、取引先・消費者も含め、国際基準に則った人権の尊重はCSR経営の基盤であると認識しています。

主なリスクと機会

- **リスク**  
事業領域全般での人権上の争議・抗議による事業開始・継続の阻害など
- **機会**  
サプライチェーン全体での人権配慮による安定供給の強化など

三井物産のアプローチ

国際社会の一員としての自覚を持ち、世界各国・地域の文化、伝統、慣習の理解に努めるとともに、サプライチェーンにおいても人権を尊重し、人種・信条・性別・社会的身分・宗教・国籍・年齢・心身の障がいなどに基づく差別をしないことや、強制労働、児童労働など人権を侵害する労働慣行の是正に取り組んでいきます。



| 取り組みテーマ       | 関連方針・規定と設定目標            | GRI特定標準開示項目  | バウンダリー |     |
|---------------|-------------------------|--------------|--------|-----|
|               |                         | 特定したマテリアルな側面 | 組織内    | 組織外 |
| 国際規範への対応      | • CSR基本方針               | 保安慣行         | ○      | ○   |
|               |                         | 先住民の権利       | ○      | ○   |
| 人権マネジメント体制の推進 | 【設定目標】<br>• CSR研修受講率90% | 投資           | ○      |     |
|               |                         | 人権評価         | ○      | ○   |



|    |             |         |          |                    |            |              |
|----|-------------|---------|----------|--------------------|------------|--------------|
| 目次 | 会社情報        | 社長メッセージ | 三井物産のCSR | <b>CSRの5つの重要課題</b> | 社会からの評価    | 独立した第三者保証報告書 |
|    | 重要課題ごとの活動報告 | 地球環境の保全 | 人権の尊重    | 地域産業・生活基盤の充実       | 資源・素材の安定供給 | ガバナンスと人材育成   |

三井物産のアプローチ

**地域産業・生活基盤の充実**

**資源・素材の安定供給**

社会課題の認識

- 先進国におけるインフラの老朽化
- 新興国などのインフラ整備
- 食の安全・安心
- 健康維持、医療・介護・福祉サービスの確保

事業を展開する国・地域に暮らす人々の生活向上や地域産業の発展、教育環境の整備、雇用創出の創出に資する貢献が大切であると認識しています。

主なリスクと機会

- **リスク**  
インフラ利用者や製品・サービスの最終消費者の安全・健康上のトラブルによる信用低下など
- **機会**  
新興国などの生活向上に向けたインフラ構築におけるビジネスの市場拡大、都市のスマート化の動きに対する、ICTを利用した社会インフラ構築ビジネスの市場創出など

三井物産のアプローチ

事業活動を通じて、世界各国・地域の成長と発展に必要な電力、交通、通信などのインフラ整備や、医療、介護などの基礎的サービスの向上、イノベーションを伴う次世代型ビジネス領域での未来志向の価値創造、さらに、地場産業の育成や雇用創出に取り組んでいきます。また、主要大学での冠講座の開催、各種教育基金や奨学金を活用した教育環境の整備、国際的視野を持つ人材の育成に貢献していきます。



| 取り組みテーマ           | 関連方針・規定と設定目標  | GRI特定標準開示項目  | バウンダリー |     |
|-------------------|---|--------------|--------|-----|
|                   |   | 特定したマテリアルな側面 | 組織内    | 組織外 |
| 社会基盤インフラの整備       |   | 間接的な経済影響     | ○      | ○   |
| 安全・安心な製品・サービスの提供  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 消費生活用製品取扱方針</li> <li>• 消費生活製品取扱規程</li> </ul> | 顧客の安全衛生      | ○      | ○   |
| 地域コミュニティへの参画・開発   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 社会貢献活動方針</li> </ul>                          | 地域コミュニティ     | ○      | ○   |
| 国際的視野を持った人材育成への貢献 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 社会貢献活動方針</li> </ul>                          |              |        |     |

社会課題の認識

- 人口増加と資源・素材の需要拡大
- サプライチェーンにおける環境・社会側面の責任拡大  
新興国を中心に人口増加が続き、より豊かな生活を目指していくうえで、エネルギー、金属、水、食糧、化学品などの資源および素材の需要増加に伴い、供給ソースの確保と安定供給が社会課題であると認識しています。

主なリスクと機会

- **リスク**  
気候変動、人口増加に伴うエネルギー・食糧資源の安定供給不全による事業停止など
- **機会**  
持続可能な資源開発と、サプライチェーン全体での環境・労働・社会側面の配慮、トレーサビリティ確保による競争力拡大など

三井物産のアプローチ

国内外のサプライヤー・需要家・事業パートナーとともに、世界各地に遍在する資源開発・生産、製品の流通・加工・再利用に取り組み、また、鉄道輸送、港湾設備などのインフラ・ロジスティックスの整備を推進し最適なサプライチェーンを構築していきます。その中で、各種CSR課題把握に努め、サプライチェーン全体での改善・解決にも取り組んでいきます。



| 取り組みテーマ            | 関連方針・規定と設定目標  | GRI特定標準開示項目                                     | バウンダリー |     |
|--------------------|---|---|--------|-----|
|                    |   | 特定したマテリアルな側面                                    | 組織内    | 組織外 |
| 資源開発、資材・食糧の確保と安定供給 |   | 間接的な経済影響  | ○      | ○   |
| サプライチェーンマネジメントの推進  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• サプライチェーンCSR取組方針</li> </ul> | サプライヤーの環境評価<br>サプライヤーの労働慣行評価<br>サプライヤーの社会への影響評価 | ○      | ○   |
|                    | <b>【設定目標】</b><br>• 新規調達先への同方針の周知100%                                | サプライヤーの人権評価<br>結社の自由と団体交渉<br>児童労働<br>強制労働       | ○      | ○   |



|    |             |         |          |                    |            |              |
|----|-------------|---------|----------|--------------------|------------|--------------|
| 目次 | 会社情報        | 社長メッセージ | 三井物産のCSR | <b>CSRの5つの重要課題</b> | 社会からの評価    | 独立した第三者保証報告書 |
|    | 重要課題ごとの活動報告 | 地球環境の保全 | 人権の尊重    | 地域産業・生活基盤の充実       | 資源・素材の安定供給 | ガバナンスと人材育成   |

三井物産のアプローチ

ガバナンスと人材育成

社会課題の認識

- コーポレート・ガバナンスおよび内部統制の機能不全
- 画一的な働き方による生産性の停滞
- 人材の多様化、グローバル化

事業活動を通じて継続的に社会に貢献し、社会から信頼される企業であり続けるため、その基盤であるコーポレート・ガバナンス体制の充実と内部統制、そして、それを支え、すべての事業活動の基礎となる人材を育成することが重大な課題であると認識しています。

主なリスクと機会

- リスク**  
新興国などの公共性の高い事業での贈賄、情報セキュリティ関連トラブルによる事業停止など
- 機会**  
新しい働き方促進と働きがいのある職場整備による労働生産性向上への貢献、公正な処遇と公平かつ充実した人材育成の推進、ダイバーシティ経営の推進による競争力向上、従業員のCSR意識向上に伴う社会課題を解決する新たな事業機会創出など

三井物産のアプローチ

社会から信頼される企業であり続けるため、ガバナンスの維持、公正な取引慣行、腐敗防止に努めていきます。従来の働き方を生産性・効率性の観点から見直すとともに、多様な人材が能力を最大限に発揮できる職場環境を整えることで、企業競争力を高めていきます。また、当社の「総合力」と「つなぐ力」を一層発揮し、世の中に役立つ意義のある仕事を創造する「実現力」を持ったグローバル・グループ経営を担う人材を育成することで、原動力を強化していきます。



| 取り組みテーマ                                 | 関連方針・規定と設定目標  | GRI特定標準開示項目                        |                          |
|---|---|------------------------------------|--------------------------|
|   |   | 特定したマテリアルな側面                       | バウンダリー<br>組織内 組織外        |
| コーポレート・ガバナンスと内部統制                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>コーポレート・ガバナンス及び内部統制原則</li> </ul>  |                                    |                          |
| サステナビリティガバナンス体制強化<br>コンプライアンスとリスクマネジメント | <ul style="list-style-type: none"> <li>特定事業管理制度</li> <li>三井物産役職員行動規範</li> <li>個人情報保護方針</li> <li>情報管理規定</li> <li>ITセキュリティ規定</li> </ul> | 腐敗防止<br>公共政策<br>反競争的行為<br>コンプライアンス | ○ ○<br>○ ○<br>○ ○<br>○ ○ |
| 人材を資産に<br>人材の育成                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>人事制度の3重点施策</li> </ul>  | 研修および教育                            | ○                        |
| ダイバーシティ経営の推進                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>女性活躍推進に関する行動計画</li> <li>女性の役員・管理職登用に<br/>関する自主行動計画</li> </ul>                                  | 多様性と機会均等<br>男女同一報酬<br>雇用           | ○ ○                      |
| 労働安全衛生の推進                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康管理基本方針</li> </ul>  | 労働安全衛生                             | ○                        |

重要課題の特定・見直しプロセス

重要課題の特定にあたり、取引先、NPO・NGO、有識者などの意見や、国連グローバル・コンパクト、ビジネスと人権に関する指導原則、GRIガイドライン、ISO26000などの国際的な枠組み、経営上の重点施策や事業分野ごとの戦略との整合性を考慮し、注力して取り組むべき課題を抽出しました。その後、「CSR推進担当者会議」「CSR推進委員会」での議論、「経営会議」での承認を経て、2015年3月、経営における重要な指標の一つとして「CSRの5つの重要課題(マテリアリティ)」を特定し、全社で共有しました。時代の変化に伴う社会の課題やニーズ、期待に応じていくため、これらの重要課題は今後も定期的に見直しを行い、全事業活動を通じた当社ならではの価値創造により社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

